

**[報 告]****SC13 報告**

東北大学サイバーサイエンスセンター 小松一彦

2013年11月17日～22日に米国コロラド州デンバー市において International Conference for High Performance Computing, Networking, Storage and Analysis (通称 SC)が開催されました。SCはスーパーコンピューティングとその関連技術に関する世界最大の国際会議であり、1988年から年に1回開催されており、今回で25周年目を迎えます。参加者は会議全体で約11,000人と非常に多く、その年の最新の研究成果・製品が発表されます。今回、SC13に参加し、サイバーサイエンスセンターにおける研究活動を発表してきましたので、その報告をいたします。

SCは技術論文が発表される本会議と、大学・研究所・企業等が最新の研究成果・製品を発表する展示会から構成されています。サイバーサイエンスセンターは流体科学研究所と金属材料研究所と連携し、東北大学としてスーパーコンピューティングに関する活動について、例年展示を行っています。東北大学展示ブースでは、サイバーサイエンスセンターのスパコンシステムの紹介や次期システムの導入スケジュールをはじめ、将来のHPCIシステムのあり方の調査研究や2.5・3次元積層技術を活用したプロセッサに関する研究など、次世代の高性能計算基盤技術に関する最新の研究成果の展示や発表を行いました。また、CREST「ポストペタスケール高性能計算に資するシステムソフトウェア技術の創出」展示ブースにおいても、スパコン研究部の研究成果の一部を展示いたしました。18～21日の4日間の展示会期間中、東北大学展示ブースへの訪問者は300名以上にものぼり、活発な議論・情報交換を行うことができました。

今年のSC14は11月16日～21日に米国ルイジアナ州ニューオーリンズ市で行われる予定です。



東北大学展示スタッフ



展示の様子



SC25周年記念パネル